

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会			チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計		
期日	H30.2.11	会場	白鷲大学	試合No.	正	智	14	17	24	22	77	
審判	(主)久保知仁	(副)平出剛	梶崇司	M4	土	日	大	27	25	11	16	79

正智深谷高等学校(埼玉)

コーチ 成田 靖 A・コーチ 福井 直人 マネジャー

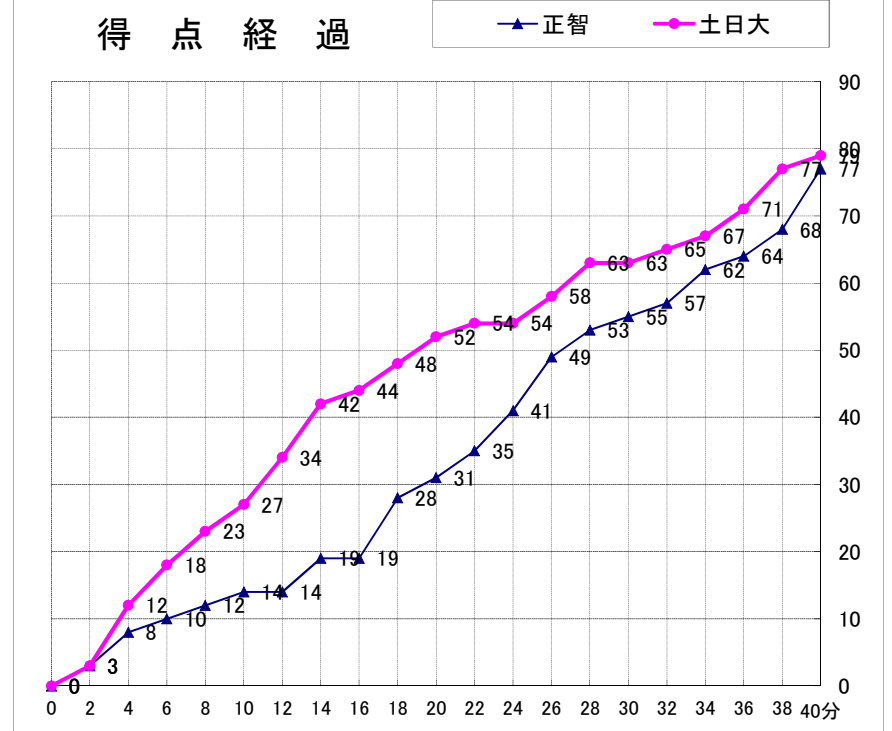
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
勝山 大輝	4	12	0	1	3	9	6	9	2	8	8	16
渡部 琉	5	13	1	7	4	8	2	2	5	0	4	4
石橋 柊	6	13	1	2	4	11	2	3	1	1	3	4
伊藤 陵	7	26	8	20	1	1	0	0	3	1	1	2
松本 大輝	8	13	1	6	5	10	0	2	4	1	5	6
草野 颯斗	9											
渡邊 諒一	10											
安田 琉空	11											
八尾 航平	12											
川端 蓮己	13											
土橋 広英	14											
横田 利道	15	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	
五十嵐 雷文	16											
木幡 春樹	17											
神矢 龍之介	18											
チーム									0	1	3	4
合計		77	11	36	17	39	10	18	15	13	24	37
成功率			30.6%		43.6%		55.6%					

土浦日本大学高等学校(茨城)

コーチ 佐藤 豊 A・コーチ 高橋 佑輔 マネジャー 神保 光希

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
吉田 崇紘	4	26	0	0	12	17	2	2	3	5	5	10
細割 駿佑	5	6	0	0	3	5	0	0	1	3	1	4
山崎 凜	6	9	1	3	3	8	0	0	3	7	7	14
塚越 胤信	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
吉村 公汰	8	6	0	5	2	4	2	3	4	3	6	9
飯野 棕太	9	4	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0
結城 智史	10											
中崎 翔月	11											
神 魁杜	12	2	0	0	1	4	0	0	0	0	2	2
星 誠人	13											
鍋田 亜廉	14	26	8	25	1	5	0	0	1	0	3	3
吉田 凜	15											
松尾 凌平	16											
山内 龍也	17	0	0	0	0	1	0	0	1	0	6	6
郷 歩夢	18											
チーム									0	2	4	6
合計		79	9	35	24	46	4	5	13	20	35	55
成功率			25.7%		52.2%		80.0%					

得点経過



戦評

男子決勝、激しいディフェンスからの速攻が武器の正智深谷と中でも外でもバランス良く得点することができる土浦日大の王座を決める一戦。開始8秒、3Pで正智⑥石橋が先制すると、負けじと土日大の1年生スーパールーキー⑭鍋田も3Pで応戦。土日大の3-2ゾーンのギャップを突きながら外角のシュートを決めていく正智。それに対して土日大は⑭鍋田の連続3Pとビッグマンたちのゴール下で手堅く得点していく。第1ピリオド終盤、正智はタイムアウト後に守備をハーフマンツから1-1-3ゾーンへと変えたが、土日大は⑭鍋田の3Pとパスを使ったゾーンブレイクで上手く対応し、13-27の土日大リードで第1ピリオドを終えた。第2ピリオド、正智はリズムが掴めず攻めあぐむなか、土日大は④吉田を中心としたインサイドアウトの攻めで外角のシュートを沈め、流れは完全に土日大に傾き、土日大⑭鍋田の3Pが連続で決まった瞬間に正智はたまたまタイムアウト。正智は再び守備をマンツーマンに変え、正智⑦伊藤の3P、④勝山のゴール下で踏ん張りを見せるも、土日大⑭鍋田の3P、④吉田のブレイクで流れを奪えない。その後も正智⑤渡部のドライブ、⑦伊藤と⑧松本の3Pで点差を縮めようとするも、土日大④吉田の3連続得点の活躍もあり、31-52で土日大がさらに点差を広げて後半を迎えることとなった。第3ピリオド、土日大は2-3ゾーンに変えてくるが、正智⑤渡部のギャップを突くゴール下のプレーでの得点。その後、正智⑥石橋のドライブ3連続得点とバスカン、⑦伊藤の3Pで流れが徐々に正智に向き始める。土日大も⑨飯野のミドルシュットで応戦するも試合は正智のペースに。正智が21点あったビハインドを8点にまで詰め寄り、55-63で最終ピリオドに突入。立ち上がり、正智⑧松本の1対1からのミドルシュットで先制すると、土日大④吉田もゴール下で強引に得点をもち取る。正智⑤渡部の3P、⑥石橋のミドルシュットで果敢に攻めるも、土日大⑧吉村のドライブ、④吉田のゴール下で正智を近づけない。残り3分攻守の要の正智⑤渡部が5ファウルで退場。高さを失った正智に対し、土日大は力強くも堅実にゴール下を攻める。正智は、フルコートプレスから⑦伊藤の気迫の4連続3Pで渾身の追い上げを見せるも一歩及ばず、77-79で土日大が関東新人大会の王座に輝いた。一時は20点以上開いた点差を埋めてきた正智の底力を称えつつも、ルーキーを擁しながらも勝負所での強さを発揮した土日大に祝福の拍手を送りたい。スピーディーな展開での3Pの応酬も見られ、会場も大いに沸いた好ゲームであった。

記入者 小山 幸広